

平成26年度

2014.9

## 学校だより「臨時号」

## 学校評価特集【前期】

京都市立勧修小学校

TEL 591-0003 FAX 591-0004

http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kansyu-s/

京都市立学校では「学校評価システム」を活用して教育の充実と向上を目指しています。

本校におきましても6月に保護者の皆様から「学校アンケート」により評価とご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

また、前期のうちに全校児童から学校生活をよりよくするための意見をたずねる「生活アンケート」と教職員の自己評価を合わせて実施しました。

これらのアンケート等の結果をお知らせすること

によって、保護者や地域の皆様と学校とで勧修教育の課題を共有し、本校教育の改善や地域ぐるみで子どもを守り、育てる教育環境づくりに力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 1 保護者評価【回答数 351】(数字は%)

A…「よくあてはまる」 B…「どちらかといえばあてはまる」 C…「あまりあてはまらない」  
D…「ぜんぜんあてはまらない」 E…「分からない」

(分析に当たっては回答総数からEの回答数を除いた数値を%表示しています。)

No.	項 目	A	B	C	D
1	よく考え、正しく判断する子に育ってきている。	22.1	61.6	16.3	0.0
2	人の話を聞き、自分の思いをしっかりと話す子に育ってきている。	18.2	57.8	23.4	0.6
3	目標に向かって努力する子に育ってきている。	28.8	51.8	18.0	1.4
4	友達のがんばりを認められる子に育ってきている。	33.9	55.6	9.9	0.6
5	子どもは、楽しく学校に行っている。	66.7	27.9	4.8	0.6
6	子どもは、友達と仲良く学校生活を送っている。	62.8	33.7	3.2	0.3
7	子どもは、自らすすんで学習しようとしている。	23.5	47.6	26.1	2.8
8	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	26.6	55.6	16.3	1.5
9	早寝・早起きの習慣がついている。	41.4	38.0	18.3	2.3
10	朝ごはんをきちんと食べさせている。	82.9	14.8	1.7	0.6
11	すすんであいさつができるように働きかけている。	48.7	44.4	6.6	0.3
12	すすんでお手伝いができている。	19.3	49.4	29.0	2.3
13	時間を決めて家庭学習や読書をさせている。	18.3	40.7	33.2	7.8
14	テレビを観たり、ゲームをしたりする時間を決めている。	18.6	36.8	33.3	11.3
15	忘れ物がないよう、必ず確かめるようにさせている。	34.4	49.3	13.2	3.1

## 2 児童評価、保護者評価の対比 (数字は%)

A…「よくあてはまる」 B…「どちらかといえばあてはまる」 C…「あまりあてはまらない」  
D…「ぜんぜんあてはまらない」 E…「分からない」

(分析に当たっては回答総数からEの回答数を除いた数値を%表示しています。)

		項 目	A	B	C	D
①	児	学校に行くのが楽しい。	57.9	33.0	6.9	2.2
	保	子どもは、楽しく学校に行っている。	66.7	27.9	4.8	0.6
②	児	勉強はよくわかっている。	43.0	42.3	11.6	3.1
	保	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	26.6	55.6	16.3	1.5
③	児	元気のよいあいさつをしている。	61.2	29.4	7.7	1.7
	保	すすんであいさつできるように働きかけている。	48.7	44.4	6.6	0.3
④	児	友だちと仲良くしている。	80.2	16.7	2.1	1.0
	保	子どもは、友達と仲良く学校生活を送っている。	62.8	33.7	3.2	0.3
⑤	児	忘れ物をしないように気をつけている。	58.0	30.4	8.1	3.5
	保	忘れ物がないよう、必ず確かめるようにさせている。	34.4	49.3	13.2	3.1
⑥	児	家で宿題や勉強をきちんとしている。	69.6	22.9	5.3	2.2
	保	時間を決めて家庭学習や読書をさせている。	18.3	40.7	33.2	7.8
⑦	児	寝る時刻・起きる時刻に気をつけている。	51.5	27.5	15.0	6.0
	保	早寝・早起きの習慣がついている。	41.4	38.0	18.3	2.3
⑧	児	テレビを観る時間やゲームをする時間を決めている。	37.1	26.8	18.4	17.7
	保	テレビを観たり、ゲームをしたりする時間を決めている。	18.6	36.8	33.3	11.3

### 3 教職員による評価 (数字は%)

項 目	A	B	C	D
1 子どもは楽しく学校に通っている。	9.5	85.7	4.8	0.0
2 子どもの家庭学習が習慣化している。	5.0	65.0	25.0	5.0
3 子どもに読書の習慣が身についている。	10.0	25.0	55.0	10.0
4 子どもはすすんであいさつしている。	12.5	58.3	29.2	0.0
5 子どもは望ましい言葉づかいをしている。	4.4	47.8	43.5	4.3
6 子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。	4.6	81.8	13.6	0.0
7 子どもは他人を思いやり、親切にしている。	0.0	68.2	31.8	0.0
8 子どもは学校行事に積極的に参加している。	0.0	68.2	31.8	0.0

#### 【評価結果全体から】

- ・全校集計結果のNo.1～4の項目は、勸修小学校の目指す子ども像「考える子」「しっかり話す子」「夢を広げる子」「うれしさを分け合う子」についての状況を尋ねています。各項目でAとBの評価をたくさんいただきましたが、No.2の項目「人の話を聞き、自分の思いをしっかり話す子に育ってきている。」については、まだまだ不十分だと考えています。普段の行動の中で判断する基準を意識させていくことが大切だと思います。「話す・聞く」は生活や学習の基本です。学校と家庭が連携して常に意識付けして育てていきたいと考えています。
- ・「あいさつ」については、誰もがあいさつは大切であり、あいさつすることが望ましいとわかっています。数字的にも実現度（ $A+B=93.1\%$ ）が高くなってきてうれしく思いますが、これからもおとな子どもも気持ちのよいあいさつができるように、「おはよう」と相手の顔を見て自分から声を出すことを心がけてください。そして、様々な生活場面でいろいろなあいさつができるように学校と家庭・地域がさらに協力して取り組んでいくことが大切だと思います。
- ・児童による評価・保護者による評価から、児童と保護者のアンケート結果を比較すると、②「学習の理解度」、⑤「忘れ物」、⑥「家庭学習」、⑧「テレビ・ゲーム」の項目に親と子の評価に大きな違いが見られます。特に⑥「家庭学習」では、A「よくあてはまる」の差が大きいです。子どもたちは「宿題＝家庭学習」ととらえていますが、保護者は宿題以外の学習や読書を計画的に行うことが家庭学習と認識されています。今後は、家庭学習の内容をしっかりと確認し、読書を含めた学習を計画的に行っていくように工夫して、定着を図ることが大切だと考えています。



#### 【児童による評価から】

- ・①「学校が楽しい」②「授業はよく分かる」については、 $A+B$ 評価の合計が高い数値を示していて、たいへんうれしく思っています。これからもさらに、基礎基本の徹底を図り、豊かに活動する授業や生き生きと学び合う授業を目指します。また、一人一人の居場所がある学級づくりに向けて、一層努力していきたいと思えます。
- ・テレビやゲームの時間については、子どもは時間を決めて計画的に生活しているように思っていますが、保護者の評価とは差が大きいです。一日の生活のリズムや早寝・早起きの大切さなどについて子どもの意識をもっと高め、規則正しい生活習慣を確立させていく必要があります。

#### 【保護者の方による評価から】

- ・⑤～⑧は家庭での働きかけですが、「忘れ物」については、 $A+B$ の評価は高いものになってきていますが、子どもも気をつけ、保護者も声掛けをすることが大切です。持ち物を用意する時間や点検する時間を相談して決め、習慣化を図っていければと考えています。
- ・「早寝・早起き」の習慣は児童・保護者とも $A+B$ で約80%になっています。「早寝・早起き」の習慣は着実に身に付いてきたと思います。子どもたちの登校状況も改善されてきました。「早寝・早起き」の継続は学力向上を目指す上でも重要ですので、引き続き家庭での声かけをお願いいたします。

#### 【学校評議員の方による評価から】

- ・勸修校の子どもたちは、他校と比べても、しっかり挨拶をしてくれると思います。学校内だけでなく、外で会った時も挨拶をしてくれる子どもが増えています。また、自分から進んで挨拶ができる子どもたちも増えてきていると思います。
- ・言葉遣いについては、教職員の評価が低くなっているようですが、放課後まなびの時にも少し乱れてしまう子がいます。その都度注意をしています。
- ・遅れてくる子どもを以前はよく見かけたが、最近は減ってきているように思います。「早寝・早起き・朝ごはん」についても高い評価が出ているので、子どもたちは頑張っているように思います。
- ・読書の習慣についての評価が、保護者・教職員とも低くなっています。朝の読み聞かせの時には、推薦したい本を紹介するなどいろいろ工夫していきたいと思えます。
- ・わが子の様子を見てみると、ゲームやテレビの時間が気になります。夜遅くまで携帯を触っていたり、連絡を取り合ったりしています。食事中は使わない等のルールを決めていますが、なかなか徹底できないのが現状で、指導の難しさを感じています。

#### 【教職員による評価から】

- ・教職員も教育活動の実現度を27項目にわたって振り返り、上記の8項目が「学校での子どもの様子」についての評価です。母数が少ないので児童や保護者の方々の評価結果と単純に比較することはできませんが、特に「読書の習慣」「望ましい言葉づかい」などの実現度は低いと判断しています。子どもが獲得している言葉の数が少ないことや、ていねいな言葉づかいをした経験が少ないことなどが考えられます。また、家庭での読書習慣が身に付いていないこともひとつの要因としてあげられるのではないかと考えています。今後、学校と家庭、地域が連携し、言葉を大事にして、正しく話せる子どもを育てていくことが必要だと考えています。